



評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2 | 使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ドエル北2東2	階数	地上15F
建設地	札幌市中央区北2条東2丁目1-24	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	79人
気候区分	2地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年9月 予定	評価の実施日	2016年3月9日
敷地面積	501㎡	作成者	
建築面積	234㎡	確認日	2016年3月10日
延床面積	3,242㎡	確認者	

「配慮シート」に外観パースを張り付けて下さい。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100%
②建築物の取組み 71%
③上記+②以外の 71%
④上記+ 71%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項

総合		A 省エネルギー
賃貸の共同住宅だが、分譲共同住宅と遜色の無い断熱仕様、住設仕様とし、省エネルギー対策、維持管理対策を充実した建物とした。		エネルギーの使用の合理化等に関する法律を遵守し、計画した。
B 省資源等	C 緑化	D 雪処理
台所、洗面室に水優先吐水栓を採用、浴槽は高断熱浴槽を採用し省資源化を図った。照明器具はLEDを多用した。	前面道路側北東側、別棟ゴミ庫横に植栽を配した。	前面道路側敷地内にロードヒーティングを設けた。雪庇防止金物を東、南、西面の3方向に設置した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される